

最先端で活躍するガラスとガラス状態

～ 2022年国際ガラス年 IYOG 記念シンポジウム～

GLASS AGE

最先端で活躍しているガラスの機能と社会に与える影響に焦点を当てるとともに、ガラスとガラス状態の応用物理学的展開を模索します。

招待講演者(敬称略) / 所属 / タイトル

- 細野 秀雄 / 東京工業大学 / 「アモルファス酸化物の半導体とその社会実装」
中沢 正隆 / 東北大学 / 「ガラスが織りなす光ネットワーク、社会課題と今後の展望・期待」
湯川 博 / 名古屋大学 / 「ナノ多孔質ガラスデバイスの開発と超早期がん診断への応用と期待」
雨宮 智宏 / 東京工業大学 / 「メタマテリアルの応用とガラスの可能性」
杉岡 幸次 / 理化学研究所 / 「レーザーを用いたガラス加工と応用」
丸尾 昭二 / 横浜国立大学 / 「ガラス3Dプリンティングの進展」
宮崎 州正 / 名古屋大学 / 「ガラス転移の理論研究の最近の話題～非線形レオロジーを中心に～」
西森 秀稔 / 東京工業大学 / 「スピングラスから量子アニーリングへ」
Andrew King / D-Wave Japan / 「ガラス状態のアニーリング型量子計算機への応用」

第83回応用物理学会秋季学術講演会シンポジウム

日時 2022年 9月 20日(火) 9:00 から
会場 東北大学 B200会場 およびオンライン(ハイブリッド)
企画 国際ガラス年日本実行委員会、応用物理学会フォトニクス分科会

日本発 物質材料研究 OA ジャーナル

STAM Science and Technology of Advanced Materials

2021 Impact Factor **7.821**

英文論文誌 *Science and Technology of Advanced Materials (STAM)* は、編集委員長 (宝野 和博, 物質・材料研究機構) をはじめとする、幅広い物質材料研究の各分野で活躍する世界 14 か国 70 名以上の専門家を編集委員とし、質の高いジャーナルを編集しています。金属、無機、有機、生体材料など材料科学研究の全分野を網羅し、ナノテクノロジーを含む材料科学に関する研究情報発信の場を世界に提供しています。

日本で唯一の材料専門研究機関である NIMS とスイスの Empa (Swiss Federal Laboratories for Material Science and Technology) が出版・編集を支援する、閲覧料無料のオープンアクセスジャーナルです。

ジャーナルウェブサイト
(英語)



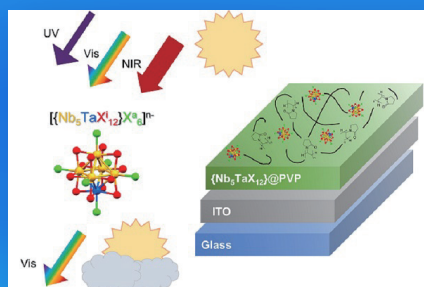
ジャーナルウェブサイト
(日本語)



本シンポジウム参加の皆さまへのお勧め論文

High performance $\{Nb_5TaX_{12}\}@PVP$ ($X = Cl, Br$) cluster-based nanocomposites coatings for solar glazing applications

Clément Lebastard, Maxence Wilmet, Stéphane Cordier, Clothilde Comby-Zerbino, Luke MacAleese, Philippe Dugourd, Naoki Ohashi, Tetsuo Uchikoshi & Fabien Grasset



Sci. Technol. Adv. Mater. **23** (2022) pp. 446-456

閲覧はこちらから ▶▶▶

